

# 民主島根

2019年  
**10.13**  
第1345号

発行所 松江市袖師町3-6  
日本共産党島根県委員会

TEL 0852-24-2444  
FAX 0852-24-6369

## 大企業や富裕層に適正な課税を 消費税増税中止！野党連合政権へ

### 大平前衆議院議員、山口川本町議、向瀬西部地区委員長が宣伝

日本共産党の大平よしのぶ前衆議院議員は9月25日、川本町の山口節雄町議、向瀬慎一党西部地区委員長と宣伝し、消費税10%増税の中止を求めました。

大平氏は「消費税収は大企業と富裕層への減税で消えた。大企業の内部留保は450兆円と増え続ける一方だ」として、消費税増税を中止し、大企業と富裕層に適正に課税する「消費税増税に頼らない別の財源」で暮らしを応援する党の政策を紹介。安倍政権が増税を狙いながら、軍事費・防衛費を毎年のように増やしていることを告発し、「税金の無駄づかいを改めるべきだ」と訴えました。また、参院選で市民と野党の共闘が前進した



宣伝する(左から)大平、向瀬、山口の各氏(川本町)

ことを紹介し、「野党連合政権に向けた話し合いも始まっています。共闘へ頑張る日本共産党を大きく伸ばしてください」と訴えました。

### 原発推進は定住・移住にブレーキ

#### 県庁前 県議団、市議が議会報告

日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議は4日夕、同日閉会した9月定例県議会の議会報告を県庁前で行いました。(写真)

尾村利成、大國陽介の両県議は4日夕、同日閉会した9月定例県議会の議会報告を県庁前で行いました。(写真)

江市議らが参加しました。尾村氏は、県政運営の指針となる「島根創生計画」(2020〜2024年度)の策定について「安全・安心の島根をつくる」というのならば、原発推進は定住、移住にブレーキをかけるものだ。「原発ゼロ」こそ、島根創生であり、島根原発の再稼働などあり得ない」と訴えました。

大國氏は「県は島根創生に必要な予算確保に向けてすべての事務事業の見直しを検討している」とし、「35人少人数学級や学校図書館への司書の配

置など、県民から喜ばれてる事業の継続、拡充に力を尽くす」と決意を述べました。

### 安易な病床削減は認められない

#### 尾村、大國両県議が質疑

県議会決算特別委員会が9月25日開かれ、病院事業や企業局会計などについて、日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議が質疑を行いました。

尾村氏は、10月から県立中央病院の病床数が618床から558床となることについて「中央病院は災害拠点病院に指定されており、万一の災害に備えて一定の空きベッドは必要。県民にとって最後の砦の病院であり、救急患者を断ってはならない」と強調し、安易なベッド削減には異を唱えました。また、同病院が単年度約10億



スタンディングアピールする森川佳英市議(左端)ら(江津市)

大田市の総がかり行動実行委員会が9月19日、スパーパー前で145回目の集会を開きました。(写真)日本共産党の大西修市議が参加しました。リレートークで、年金者組合の高尾一さんは「政治は必ず変えられ

## 野党連合政権の実現で政治変えよう

### 大田総がかり行動 145回目の集会開く

ます。野党連合政権をめざし、みなさんと力を合わせたい。同実行委の宮脇康朗さんは「今こそ(生存権などを規定した)憲法25条を生かす。輝かすときです。全世代が希望を持って安心して暮らせる社会を一緒に実現しよう」と呼びかけました。買い物中の女性(23)は「増税せず、国民が安心して暮らせる社会になっただけ」と話しました。

### 鼓動

1日から消費税の10%への増税が国民大多数の反対を押し切って強行された。ふだん、コンビニやスーパーで食事を購入する筆者にとっては大ダメージだ。県内の増税反対運動などを取材する中で、絶対に増税は許せないとの声をたくさん聞いてきた。年金暮らしの方々からは「今でさえ生活が苦しいのに本当に困る」とのお話を何度も聞いた。党の宣伝を聞いてくださった方にお話を聞くと、庶民ではなく大企業や大金持ちに自分の負担を、とまさに党の訴えに共感する反応が必ず返ってきた。▼その他にも、生活保護を受けている方は「節約に努めているが、増税されれば、さらに切り詰めて生活しないといけない」と話し、友人とルームシェアで暮らす若者は「本当に困る。病気がちでバイトを減らしているの、食べさせていけるかどうか分からない。今でさえ一日一食なのに」と不安そうに話していた。▼日本共産党は、消費税増税に頼らなくとも暮らしを応援する別の財源を示し、さらに5%への減税も主張している。市民連合と5野党・会派が今年5月29日に合意した「共通政策」には「膨張する防衛予算、防衛装備について憲法9条の理念に照らして精査し、国民生活の安全という観点から他の政策の財源に振り向けること」と記されている。この「共通政策」は非常に画期的で、まさに共闘の時代にふさわしいものとなっており、筆者も感激した。▼安倍自公政権、そして、自民党政治を今度こそ終わらすため、「野党は共闘」から「野党は連合政権へ」、筆者も全力を尽くしたい。(純)